



# 推進員便り

【秋田県委託事業】

平成28年8月31日(水) Vol.10

秋田県地球温暖化防止活動推進センター  
(NPO法人 環境あきた県民フォーラム)

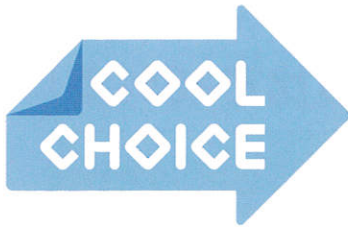
身近な生活の中で今できるアクションを選ぼう!

## クール 『COOL CHOICE(=賢い選択)』

環境省がCO<sub>2</sub>削減に向けて進めている、COOL CHOICE(=賢い選択)という取組み。私たちの日常生活の中でなされている「選択」という側面に注目し、温室効果ガス削減に繋がる行動を意識的に選びとろうという呼びかけです。

未来のために、今できることを選ぶ。「自然の風や扇風機も利用する」「白熱球がきれたらLED電球に取り替える」「車のアイドリングはやめる」など、すでに皆さんがされていることをもっと色々な場面で、たくさんの方がこのような賢い選択をするようになることがCO<sub>2</sub>の削減につながります。

ぜひ、みなさんもCOOL CHOICEへの賛同登録をお願いします。



### 賢い選択の例

- ・家庭でこまめにスイッチオフ!「節電」
- ・夏の冷房時に室温28℃で快適に過ごす「クールビズ」
- ・暖房に頼りすぎず、冬を暖かく、快適に過ごす「ウォームビズ」
- ・環境負荷の軽減に配慮した自動車使用への取組「エコドライブ」
- ・移動をエコに。CO<sub>2</sub>削減だけでなく、健康で快適な新しい移動「スマートムーブ」

## 旬をおいしく! 体を冷やす食べ物 温める食べ物 とは?

旬の食べ物は、体の中から、冷やしたり、温めたりする効果があります。たとえば、きゅうりやトマトなどの夏野菜は、体を冷やす効果があり、冬が旬のごぼう、にんじんなどは体を温める効果があります。また、旬の食べ物は、栽培・再生エネルギーが少ないという利点もあります。食べる物にも“COOL CHOICE”(=賢い選択)を心がけてみましょう。

### 体を冷やす食べ物



### 温める食べ物





# 地球温暖化対策の新たな流れについてお知らせします

## パリ協定 (⇒日本の計画⇒秋田県の計画)

気候変動枠組条約に加盟する全196カ国全てが参加して「世界共通の長期目標として、産業革命前からの世界の平均気温の上昇を、2℃を下回るレベルに抑え、そして1.5℃未満に収めるよう努力しましょう!」…パリ協定(2015年)



### 日本の「温暖化対策計画」

平成28年5月策定

パリ協定や日本の約束草案を踏まえて

「我が国の温室効果ガス削減目標: **2030年度に2013年度比で26%減**」

#### 家庭部門の取組

- 国民運動の推進
- 住宅の省エネ対策  
新築住宅の省エネ基準適合義務化、既存住宅の断熱改修、ZEH(ネット・ゼロ・エネルギーハウス)の推進
- 機器の省エネ  
LED等の高効率照明を2030年度までにストックで100%、家庭用燃料電池を2030年時点で530万台導入、トップランナー制度による省エネ性能向上
- エネルギー管理の徹底  
エネルギーマネジメントシステム(HEMS)、スマートメーターを利用した徹底したエネルギー管理



### 秋田県の温暖化対策推進計画 (現在改定作業中!)

国の動きに合わせ、平成23年4月に策定した秋田県地球温暖化対策推進計画を、地球温暖化対策計画及び気候変動の影響への適応計画を勘案した形で現在見直し中。

#### 家庭部門の取組

- 高効率給湯器の導入
- 省エネ家電(テレビ、エアコン、冷蔵庫の買い換え)
- 白熱灯の買い換え
- 高効率蛍光灯器具の導入
- 省エネ行動の実施
- 建替時の次世代省エネ基準採用





## 基礎研修会を遊学舎で開催しました

6月24日(金)

今年度、新たに推進員に委嘱された方や既に推進員として活動している方を対象に地球温暖化に関する基礎的な内容の習得を目的とした学習会を開催しました。参加者は21名(うち新規推進員は5名)でした。

はじめに、今後の推進員間の交流を促進するため、これまでの活動内容や今後の抱負などについて、1分間自己紹介をしていただきました。

次に、地球温暖化に関する基礎的な講話がありました。地球温暖化の原因は産業活動と普段の生活による直接・間接による二酸化炭素の排出量の増加による温室効果ガスの働きによるため、国、地方公共団体、住民の三者が一体となって取り組んでいく必要があります。住民の取組みとしては、主に省エネ活動の実施になるとの内容でした。

「まずは、推進員の方々が、自ら率先して省エネ行動を実践し、地域住民の方へ身近なちょっとした気遣いから省エネ活動を勧める。その中でも、目に見える形にするとより効果があるので、環境家計簿を勧めるのも良いのではないか。」とのことでした。

最後に、推進員の活動紹介として、昨年度、セミナー等で紹介した、秋田市在住の関二三雄さんからご自身の活動についてお話しいただきました。

「東日本大震災後、ボランティア活動に参加したことがきっかけとなり、環境やエコに関心を持った。はじめに取り組んだのは、自宅での電気やガスなどの使用量を把握すること。数字をただ並べるだけでは変化が見えづらく、データのグラフ化(見える化)を行うことにより現状を把握・分析することができ、変化がわかりやすく、対策を立てるのに役立った」とお話しいただきました。

今回、出席された方々が、地域での普及啓発活動の担い手となることを期待しています。







# IPCCレポートコミュニケーターを派遣します

## 「IPCCレポートコミュニケーター」とは？

「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」により作成された「第5次評価報告書(AR5)」の内容を、**広く一般の国民に伝えていく「伝え手」として活動する方々**です。伝え手は、伝えるために必要な知見や理解醸成のために各種資料の提供を受け、メディアや地域セミナー、出前授業等の場面で気候変動に関する情報を発信していきます。

IPCCレポートコミュニケーターの派遣は、下記連絡先までお問い合わせください。



気候変動の、いまを伝える。

IPCC report  
communicator

## 「IPCCレポートコミュニケーター」に登録しました!! 第2段

佐藤 英明さん  
【秋田市】



地球温暖化がどんどん進んでいます。温暖化によって、様々な分野に大きく影響が出ること、自分自身がそれらの危険にさらされていること等を伝えていきたいです。

佐藤 郁子さん  
【秋田市】



現在の地球温暖化を理解し、その防止のため自分たちは何ができるのか考え学び実行しよう!と伝えていきたいです。

照井 昌子さん  
【横手市】



IPCCレポートをよりわかりやすく伝えて地球温暖化の問題を他人事ではなく身近に感じてもらえるよう、頑張りたいと思います。

小坂 幸一さん  
【大館市】



気候変動に関する最新の知識を得て、自ら低酸素社会にふさわしい活動を実施することは元より、多くの方に環境家計簿の作成により、低炭素社会にふさわしいライフスタイルの変化を働きかけたいと考えます。

※IPCCレポートコミュニケーターとして登録された方は、環境あきた県民フォーラムまでご連絡ください。

## お知らせ

日時 11月1日(火) 13時30分～16時30分(予定)

場所 秋田県庁第二庁舎8階大会議室(予定)

主催 秋田地方気象台

名称 平成28年度「秋田気候講演会」

内容 地球温暖化に関する最新の知見の紹介やCOP21(パリ協定)の紹介、秋田県における温暖化防止の取組、地球温暖化の影響とその対策などについて。秋田県地球温暖化防止活動推進センターも講演しますのでぜひ、お越しください。入場は無料です。



エコまちちゃん

秋田県地球温暖化防止活動推進センター  
(NPO法人 環境あきた県民フォーラム)

〒010-1403 秋田市上北手荒巻字堺切24-2 遊学舎内 TEL&FAX 018-839-8309

ホームページ <http://www.eco-akita.org> E-mail [mail@eco-akita.org](mailto:mail@eco-akita.org)



エコおにくん